

大学院ニュースレター

久留米大学大学院医学研究科

第80号 / 2016年9月14日発行

編集 / 医学研究科長

『 諸外国の看護専門職制度 』

看護学科

教授 西田 和子

我が国の看護専門職資格制度は日本看護協会が平成8年(1996年)に看護師をベースとした認定看護師(21分野)・専門看護師(11分野)―2016年1月現在―、平成10年に認定看護管理者制度を創設し、認定機関や大学院修士レベルで教育・養成が行われて約20年が経過している。数年前より高度な医療専門技術を伴う特定看護師(仮称)についても議論されたが処方権を持つ専門職としてのNP(nurse practitioner)の制度化は見送られ、現在「特定行為」に関する定義・内容とその研修を行う認定機関を認定し、研修がスタートしている。

アメリカ(USA)は医師が病院組織に所属しないいわゆるオープンシステムを取っていること、医療組織の役割が細分化されていること、合理化・標準化が進んでいることが主な特徴とされ、医療専門職はこれらの制度や組織との関係の中で創設された。医師と看護師の中間的ポジションを担う専門職にPA(physician assistant) / NP(nurse practitioner)の存在がある。PAの資格は約2年間の認定されたPAプログラムを修了後、全米の統一試験に合格する必要がある。一方APRN; Advanced Practical Registered Nurseと

呼ばれる上級看護師資格の1つにNPが、その他にCNS(Clinical Nurse Specialist)、CRNA(Certified Registered Nurse Anesthetist)、CNM(Certified Nurse-Midwife)の3種類がある。これらの資格は看護師としての実務経験の後、大学院の修士課程を修了し、全米認定機構による認定を受けることでそれぞれの資格を取得できる。

イギリスの医師・看護師の資格登録や管理、養成カリキュラム認定などのシステムは中央・地方の行政機関が直接管理するのではなく、法律に基づいて設置された資格管理団体、医師の場合はGMC; General Medical Council、看護師の場合はNMC; Nursing Midwifery Councilが免許の管理と養成プログラムの認定を行っている。

イギリスでは、国家試験でなく4年または3年課程の看護師養成コース修了で、NMCに看護師登録を行うが、2013年度入学生から全てのコースが学士課程となるよう改革されている。専門看護師や上級看護師を養成するコースは継続教育の一環としてそれぞれの大学や大学院の認定資格として開設されているが資格名称やカリキュラムはNMCとして統一され

ていない。1970年代末頃よりアメリカに倣ったNPの活動が始まっているがNMCの認定ではない。NPの一部については医師と同様に薬剤処方が認められている。NMCは2005年から上級ナースプラクティショナー(Advanced Nurse Practitioner)の免許創設に向け検討している。NPに類似した診療行為に従事するPAは2009年から養成されている。

フランスでは看護師の教育は高校卒業後、3年間の専門学校での養成であり、国家試験により免許を取得する。准看護師制度はない。専門看護師は看護師の資格取得後2年以上の臨床経験を経た後、一定の期間(約1年-2年間)教育を経て認定される。看護師は医師の補助的役割と

いう位置づけで、社会的地位は決して高くないとされてきたが、医師の指示や処方なしで看護師が判断・決定して行う行為など、1984年に看護師の「固有の役割」がデクレ(政令)として明記され看護の自律性を承認する出来事として注目された。処方権を持つNPは存在しないが、専門看護師制度は戦後まもない1947年より小児専門看護師、1960年に麻酔専門看護師、1971年に手術室専門看護師が誕生し、管理看護師制度を含め古くから発達している。

引用；海外社会保障研究

特集；医師・看護師の養成と役割分担に関する国際比較より一

《事務通信》

◆修士・博士課程の皆様へ◆

平成28年度 大学院セミナーシリーズ(特別講義) カリキュラムのお知らせ

担当講座	講義日時	会場	講演者	講義テーマ
皮膚科学	9月1日(木) 14:00~15:00	教育1号館 5階1501教室	川上 民裕 先生 (聖マリアンナ医科大学皮膚科・准教授/遺伝診療部・副部長)	血管炎のメカニズム解明を目指した皮膚科からの提案
内科学 (腎臓内科部門)	9月8日(木) 17:00~18:30	教育1号館 5階1501教室	西山 成 先生 (香川大学医学部薬理学・教授)	レニン-アンジオテンシン系に着目したトランスレーショナル・リサーチ
バイオ統計 センター	9月15日(木) 15:00~16:30	教育1号館 5階1501教室	伊藤 ゆり 先生 (大阪府立成人病センター疫学予防課・主任研究員)	がん登録資料を活用したがん対策に関する研究
医化学	9月15日(木) 17:00~18:30	基礎I号館 2階会議室	河野 隆志 先生 (国立がん研究センター研究所・分野長)	個々人医療を目指した肺がんの高精度ゲノム解析

担当講座	講義日時	会場	講演者	講義テーマ
内科学 (心臓・血管 内科部門)	9月29日(木) 17:00~18:30	教育1号館 5階1501教室	吉田 茂生 先生 (九州大学大学院医学研究院 眼科学分野)	ゲノムワイド遺伝子発現解析を 基盤とした糖尿病網膜症に対する 新規分子標的治療薬の創製
小児科学	10月7日(金) 16:00~17:30	教育1号館 5階1501教室	田中 雅嗣 先生 (東京都健康長寿医療センタ ー・部長)	ミトコンドリア病におけるトラ ンスレーショナルリサーチの成功 例 - 新規バイオマーカーGDF-15 の発見から産業化まで -
神経精神医 学	10月14日(金) 17:00~18:30	臨床研究棟 2階共同カンフ ァレスルーム	中村 純 先生 (北九州古賀病院・院長)	うつ病から認知症への移行
病理学	10月18日(火) 18:00~19:30	基礎I号館 2階会議室	栗沢 元一 先生 (Institute of Bioengineering and Nanotechnology, Singap ore)	新規薬物送達システムの開発と 応用による有効ながん治療法の確 立
病理学	10月21日(金) 17:00~18:30	基礎I号館 2階会議室	名越 澄子 先生 (埼玉医科大学総合医療セン ター 消化器・肝臓内科/教授)	NASHと性差医学
内科学 (消化器内 科部門)	12月2日(金) 時間未定	未定	堀田 紀久子 先生 (大阪大学医学部附属病院未 来医療開発部・特任講師)	未定
分子生命科 学研究所 (高分子化学 部門)	未定	未定	北 潔 先生 (東京大学医学研究科・教授/ 長崎大学熱帯医学・グローバル ヘルス研究科・教授)	未定

日時・場所等に変更がある場合には、大学院医学研究科ホームページでお知らせ致します。
また、当該科目履修者は5回以上のセミナー出席およびレポートの提出をお願い致します。
レポートについては、各セミナー終了後1週間以内に、医学部事務部教務課までご提出下さい。



研究題目及び学位論文提出予定の確認調査実施について

修士課程2学年、博士課程4学年を対象に、研究題目及び学位論文提出予定の確認調査を実施いたします。調査書類に必要事項を記入の上、10月21日(金)までに、必ず医学部事務部教務課までご返送下さい。併せて学位論文の申請・審査手続通知についてもご確認下さい。

(学位論文のお問い合わせ先：医学部事務部庶務課担当：鳩本 内線 3014)

第2回学生研究発表会の開催について

昨年度からの新しい取り組みとして、今年度も学生研究発表会を12月12日(月)・13日(火)に開催します。7月29日に開催された医学研究科教育ワークショップにおいても、この学生研究発表会を学生同士の交流の場として発展させていくことの重要性が確認されました。ご自身の研究の進捗状況を発信し、講座の枠を超えて横断的にフィードバックを得ることができる機会ととらえ、

ふるってご参加ください。エントリー受付期間は9月16日(金)～9月30日(金)です。大学院生の研究発表に加え、英語力を磨くワークショップや懇親会の開催も検討中です。

(本件に関するお問い合わせ先：医学部事務部庶務課担当：鳩本 内線 3014)

未提出の書類はありませんか？

博士課程2学年・3学年・・・論文基礎(応用)研究実習実施計画書

博士課程2～4学年・・・研究計画書

修士課程2学年・博士課程2学年～4学年・・・現住所調査票

※未提出の方は必ず医学部事務部教務課までご提出下さい。



◆博士課程の皆様へ◆

平成28年度博士課程共通科目後期講義計画 及びレポート提出について

共通科目を履修された方には既に通知しておりますが、今一度講義計画及びレポートの提出期限についてご確認の上、所定の期日までにご提出下さい。なお、講義の変更等がある場合には、大学院ホームページ学生掲示板にてお知らせ致しますので、そちらもご覧いただくようお願い致します。

●講義計画(後期日程)&レポート提出

実施時期	科目名	科目担当責任者	講義日程/レポート
後期	科学的根拠に基づく医療(EBM)	鳥村 拓司 教授 (内科学[消化器])	レポート：EBMの功罪について A4 1～2枚(別途指示書あり) 提出期限：2月6日(月)17時 教務課窓口へ提出
後期	知的財産権論	井上 薫 教授 (学長直属)	レポート：講義時に指示あり
後期	トランスレーショナルリサーチ実習	山田 亮 教授 (先端癌治療研究センター[がんワクチン])	レポート：講義時に指示
後期	臨床・基礎研究と生命倫理(コンサルテーション)	牛嶋公生 (産婦人科学)	レポート：課題(別途指示書あり) 古賀 11/13(日) 小児科医局へ提出 牛嶋 11/25(金) 17時締切、教務課窓口へ提出 稲葉 11/30(水) 17時締切、教務課窓口へ提出 石原 11/30(月) 17時締切、教務課窓口へ提出 福重 12/31(土) 12時締切、西棟14階緩和ケアセンター福重教授へ提出



報 告

第1回医学研究科教育ワークショップ開催！！

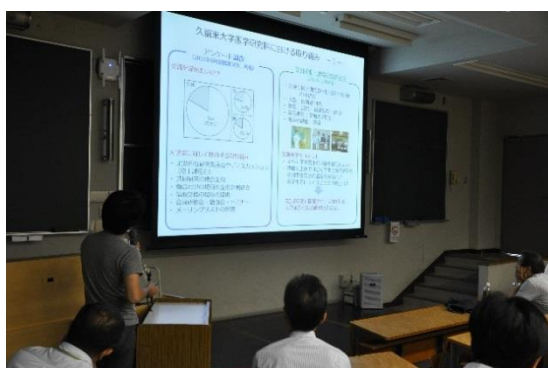
平成28年7月29日（金）に、第1回医学研究科教育ワークショップが行われました。医学研究科として初めて単独開催いたしました。たくさんの方にご参加いただき、大学院教育について活発な議論が行われ、盛況のうちに終了いたしました。お忙しい中、当ワークショップにご参加いただきました方々に改めて御礼申し上げます。

まず、今回のワークショップでは、始めに久原正治理事に「混ぜる教育：世界の多様な大学院教育から学んだこと」というタイトルで基調講演をしていただきました。「混ぜる教育」という、今後の大学院教育改革を考える上で重要な視座を得ることができました。

また、グループ討議として、1. 学生同士のつながりを深めるための方策について 2. 医学研究科の志願者増に向けての検討について 3. 専攻コース・分野の新設に向けての検討について の3つのテーマに分かれてディスカッションがなされ、ひとりひとりの胸中の熱い思いを感じることができました。

全体討議では、グループ討議で出た意見を集約したプレゼン発表を行い、各テーマより挙げた提言を全体で共有することで、今後の医学研究科のあり方を考える有意義な時間となりました。そして何より、講座や教員・学生の垣根を越えた交流の場を持つことができた点が最大の成果であったと感じております。

今後、当ワークショップでの結果は大学院医学小委員会へと提言され、その実現に向けた具体的方策が検討されていくこととなります。医学研究科がより充実した学究の場となりますよう、提言実現に向けた第一歩を踏み出していく議論が出来たのではないかと感じております。



平成29年度大学院医学研究科入学試験要項が、下記の通り決定しましたのでお知らせ致します。

【試験日程】

修士・博士ともに同一

*前期試験

出願受付期間：平成28年9月20日（火）～平成28年9月30日（金）必着

試験期日：平成28年10月18日（火）

合格発表：平成28年11月11日（金）午前10時

*後期試験

出願受付期間：平成29年1月16日（月）～平成29年1月27日（金）必着

試験期日：平成29年2月21日（火）

合格発表：平成29年3月10日（金）午前10時

※他に出願資格審査申請受付期間を設定しているのでご注意ください。

【試験内容】

*修士課程

《医科学専攻 基礎医学群・分子生命科学群・社会医学群》

《看護学専攻 修士論文コース・専門職養成コース》

英語・小論文・面接

《医科学専攻 バイオ統計学群》

英語・面接

*博士課程

英語・面接

出願資格審査、出願方法等詳細につきましては、平成29年度各課程募集要項もしくは本学大学院医学研究科ホームページにてご確認ください。科目等履修生も同時募集中です。

そちらも詳細は募集要項、ホームページをご覧ください。



編集後記

今月からいよいよ平成29年度学生募集が本格的にスタートしました。本学大学院教育を多くの方々に周知・ご理解いただき、より多くの入学希望者に恵まれるよう努めて参りたいと思います。

初秋となり少しずつ秋の気配が感じられるようになりました。気温の変化にご注意いただき、お身体ご自愛下さいますよう、お祈り申し上げます。（西）